生涯学習情報誌

フォンズ

第 49 号
2010年 2 月10日
発　行
常陸太田市フォンズ・ネットワーク
事務局　常陸太田市生涯学習センター内
〒313-0061
茨城県常陸太田市中城町3280番地
TEL 0294(72)8888
FAX 0294(72)8880

水の想い出 ㊽

福島県の北部、橋を渡るとそこは宮城県。阿武隈川河岸段丘の中ほどに父の田舎がある。

少年時代、日立市に住んでいた私は毎年夏休みになると宿題を早々に仕上げ、二週間ほどそこに泊まった。小学校４年になると、一日にただ一本あった常陸多賀駅６時７分発の福島駅直通列車で子どもだけの旅を体験。このときの親の心境はどうだったのだろう。子を持つ今になってやっとわかってきた。

田舎での夏休み、桃の栽培農家である伯父家族と共に朝5時に起きて桃の収穫、朝ごはんを食べ終え８時からは収穫した桃の箱詰め出荷。年上の従兄弟と競い合うように桃を詰めた箱をトラックに積み込んだ。出荷が終わると次はキュウリの収穫。のどが渇くと水代わりにキュウリを渡された。青臭いキュウリの香りが今でも鼻の片隅に残っている。農家の日常を二週間楽しんだ送り盆の頃、両親が帰省ついでに私を車で迎えにくる。帰路はいつも里美経由。楽しい田舎での夏が終わった。小菅のあたりの国道349号線はすぐ下に里川が流れている。車窓から川をぼーっと眺めていると、ふと従兄弟が聞かせてくれた南こうせつの歌が脳裏に流れてきた。「鳥が鳴いて、川が流れて、野山は今花が咲き乱れ…」なぜか涙があふれてきた。

いつ頃からだろう、いつかこの場所に住みたいと思い始めたのは…。

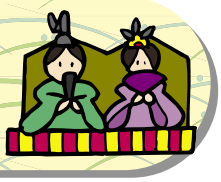
そして想いがかない、家族と共に里美に移り住み、たくさんの人達に支えられながら今を生きている。

（大中町　岡崎　靖）

鍋足山の「中ん滝」
撮影／岡崎　靖さん

フォンズとは、ラテン語で泉の意味です。とぎれることなく新鮮な情報がお届けできるようにと名付けられました。

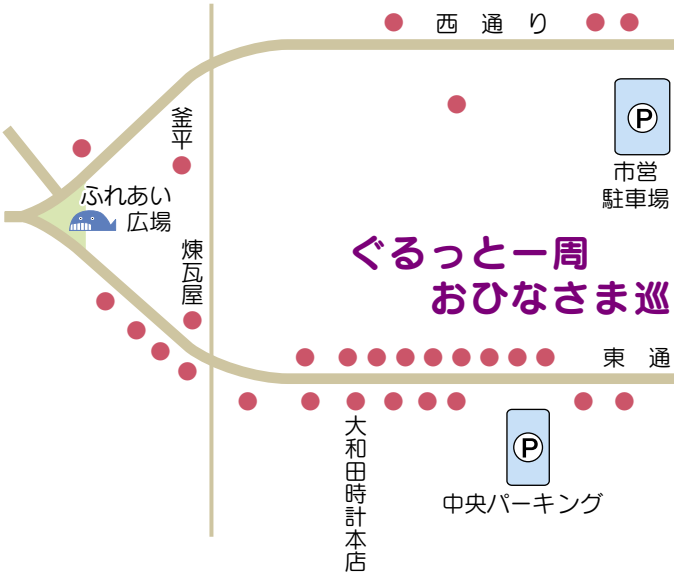
ひたちおおたの春～桃の節句



梅の花が咲き、春の便りが届く頃になると「桃の節句」ひなまつりの準備が始まります。昨年の春、鯨ヶ丘商店街には、たくさんのおひなさまが飾られました。店頭や店内を鮮やかに彩ったおひなさまの中から、いくつかをご紹介します。

見る人の心をあたたかくしてくれるおひなさま。今年のひなまつりには、ご家庭や街中で、おひなさまと向き合いながら思い出と話しをしてみませんか？

（上田　進・関根　悦美・大和田　真由美）



釜　平

豪華な十二単衣をまとった木目込み人形、
平安絵巻の屏風も目をひきます

煉 瓦 屋

大切に守り伝えられ歴史を感じさせる
大正時代のおひなさまです

大和田時計店本店

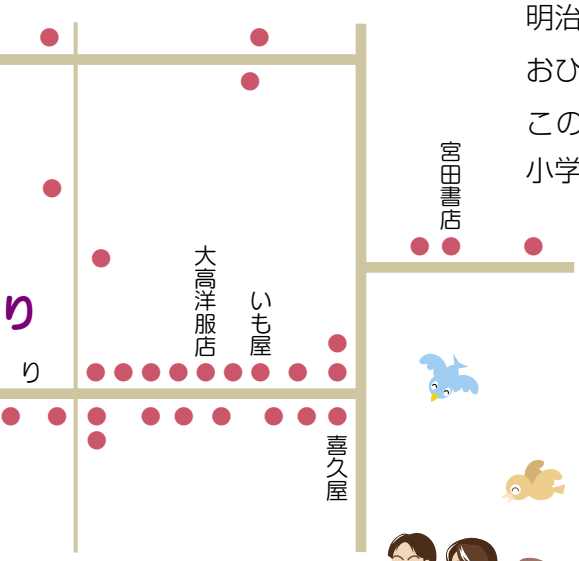
店内のたくさんの時計とともに、おひなさまも
時を刻んでいるようです

い も 屋

たくさんの段飾りと天井からは一面に
つるし雛が飾られとても華やかです

宮田書店

明治6年頃の
おひなさまです
この年の6月10日に太田
小学校が創立されました

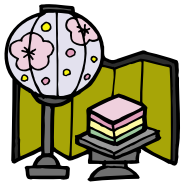


喜 久 屋

最上段に御殿が
ある段飾りです
戦後の復興期に
流行したといわ
れています

大高洋服店

鮮やかな色彩の御殿
飾りです



今年も3月19日～4月18日に「鯨ヶ丘のひなまつり」が開催されます。掲載した写真は、昨年のものですので、今年は展示内容が変わることもあります。

和暦（旧暦）～二つの時（とき）（暦）～

「鯨ヶ丘ひととせ（一年）」は、和暦（旧暦）の中に息づいている季節の行事や風習をふり返ることで、戦後の経済至上主義の中で傾きかけてきた私たちの暮らしを問い直すこころみです。　（鯨ヶ丘商店会長　渡辺　彰）

私たちには、二つの大切な時（暦）があるのだと思う。

ひとつは現在使用しているグローバルな時（新暦：太陽暦）です。近代・現代日本を築き上げてきたカチカチカチ…と音を立てて刻みつづけている時であります。

もうひとつは、明治6年に新暦（太陽暦）が採用されてから、公式に使用されなくなり旧暦と呼ばれるようになった時（和暦）です。サラサラサラ…と静かに流れるこの時（和暦）は、今日では、ほとんど使われなくなりましたが、季節の行事や風習の中に生き続けてきました。

自然のリズムに調和している和暦の時間と空間は、普段見過ごしてしまう風景や日々の暮らしに彩りを与え、日本人として忘れかけていた大切なものを、私たちに思い出させてくれます。

和暦（旧暦）の年の始まりは、立春に一番近い新月（朔（さく））ですので、今年の元旦は、新暦では2月14日になります。七草（人日（じんじつ）の節句）は2月20日、ひなまつり（上巳（じょうし）の節句）は4月16日です。ですから、早春の野で七草の若菜を摘んだり、ひなまつりに桃の花を飾ることができるのです。

自然と共生する文化を育んできた和暦からは、日本人の生活様式や価値観がたくさん読み取れます。今宵は、家族や友人と月を眺めながら何日目の月か語り合ってみてはいかがですか。きっといつもと違う「時」が流れると思います。

鯨のおひなさま（石）

※和暦（旧暦）…月（太陰）の動きで月日を、太陽の動きで季節を知る「太陰太陽暦」のこと。

節分
年に4回ある。

月の形	太陰暦の日付	月の呼び名
	翌朔日・一日	朔・朔月・新月
	晦日・三〇日	
	二二～二四日	下弦の月
	一九日	寝待月
	一八日	居待月
	一七日	立待月
	一六日	十六夜
	一五日前後	
	一四日	小望月
	一三日	十三夜月
	八日前後	上弦の月
	三日	三日月
	朔日・一日	朔・朔月・新月

鯨ヶ丘商店会発行　鯨ヶ丘ひととせ

広　告

おひなさま物語

お子さんの健やかな成長を願う華やかなおひなさま。鯨ヶ丘には寄贈されたものも含めたくさんのおひなさまが飾られました。それらのおひなさまひとつひとつには、それぞれの物語がありました。

（後藤　百合子）

～思い出の東町へ～

「父の自慢の東通りへ」と、鯨ヶ丘へ来たおひなさまがいます。このおひなさまを寄贈してくださった方のお父さんは、若い時に東町の菓子店で修行をされ、かわいがってくれたお店のご主人や奥さん、そして賑わう東町のことを折にふれ嬉しそうに話をしてくれたそうです。

この方が結婚し、お子さんの初節句。お父さんと行った水戸の人形店、華やかな段飾りが並ぶ中「好きなのを選んでいいよ」、そう言うお父さんでしたが、それまでの苦労を思い、指さした先には一番小さなおひなさま。

いつしかお子さんの成長と共にお内裏さまだけを飾るようになっていた頃、知人から鯨ヶ丘におひなさまを飾りたいので、との話があり、すぐにお父さんの顔が浮かんだそうです。ご家族にご相談、ずっと聞いていたおとうさんの思い出の通りへ「おひなさまのお嫁入り」となりました。

88歳になられるお義母さんは、広げられたおひなさまを見て「お別れ会をしようよ」と、ミカンを飾りお孫さんの成長を祝ってきたお人形に目を細めたそうです。ご本人の手で大事に鯨ヶ丘へ届けられたおひなさまは、お父さんが修行をされたその洋菓子店に飾られました。時を越え、お父さんの願いがかなったようなやさしい顔のおひなさまです。通りには、たくさんの寄贈されたおひなさまが並ぶ中「お義母さんと一緒に見に来たんです、すぐにわかりました。」

今年も、ご家族と紡いだ時を語るように静かにほほえむおひなさまがいます。

～56年目のおひなさま～

桐の箱を開けると、そこに年代を思わせる細面のお内裏さまの姿がありました。それは、昭和26年生まれの一番上の姉のもの。

ご節句祝いにと、母の父が携えてきたものです。当時両親は、祖父母を含め9人家族となった我が家を支える労働力そのもの、日々の暮らしに追われていたうえに、火災にあったりして、ゆとりも少なかったためでしょうか、姉自身も自分のおひなさまがある事すら知らなかったと言います。

昨年、鯨ヶ丘におひなさまを！との話に、桃のご節句ならば七五三に着た赤い晴れ着があるかなと思い母の元へ相談に行きました。そこで初めて、蔵に姉のおひなさまが眠っているのを知ったのです。急ぎ姉に知らせると早速神奈川から会いにきて、当時の事や小さい頃の話など、とぎれていた「時」がおひなさまを通してつながったようです。「多くの人に見てもらえたら」、姉の願いを今年もかなえたいと思います。

★常陸太田を赤い色でいっぱいにしたい★

「鯨ヶ丘のひなまつり」開催のきっかけを作った商工会女性部長　猿田勝見さんにお話をうかがいました。　（相原　早苗）

◆取り組みのきっかけは？

平成20年の春、おもてなしの心を学ぼうと商工会女性部で訪れたのが「真壁のひなまつり」でした。華やかな通りを見て、これだ！と居場所を見つけた思いでした。初めは自分の周りから、と思っていましたが、女性部メンバーから「とにかくみんなでやってみようか？」と声が上がり、さらに鯨ヶ丘商店会も応援してくれることになり、その後、鯨ヶ丘倶楽部・常陸太田市商工会・常陸太田市のご協力も得られ、商店街のたくさんのお店の賛同も頂き開催することができました。

◆おひなさまはどのように？

まず、知人、関係者に声をかける事から始めて、市内の皆様から100組以上のおひなさまを寄贈して頂きました。あるお宅におひなさまをいただきに伺った時です、「どうぞ気が変わらないうちにお持ち下さい」と、車が見えなくなるまでご家族で見送ってくださいました。どんなに大切なおひなさまだったのか…涙が止まりませんでした。ひとつひとつ思い出が込められたおひなさまです、大事に大事にと飾りました。またお店によってはご自分の家のおひなさまを飾ってくれたところもあります。全部で60店に展示されました。

◆開催していかがでしたか？

昨年の期間中30日間に12000人ものお客様をお迎えすることができました。商工会女性部では、お茶の接待を行いました。課題もたくさん残りましたが、お出かけ頂いた方々に喜んでもらえ、やって良かったと思いました。

今年もたくさんのおひなさまと共に皆様のお越しをお待ちしております。

鯨ヶ丘のひなまつり　平成22年3月19日～4月18日
※旧暦の3月3日は新暦4月16日になります。

子育て奮闘記　踊るママパラダイス㊽

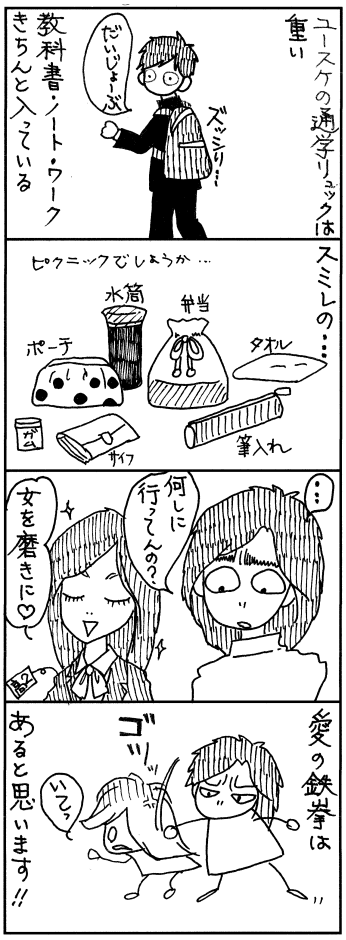
毎年ひな人形を押入れから出す頃になると、小さなお別れの時期です。

子ども達を見ていてくれた担任の先生が替わります。今年は大きなお別れの年です。ユースケが中学校を卒業します。何度か書いていますが、ユースケはコミュニケーションが苦手な子で普通の中学校に入れるには周りのサポートが必要でした。どうしても地元の中学校に入れたいという親の願いは、ユースケにとって良かったのか否か。また、受け入れる学校側には大変なご苦労があったろうと思います。何度も先生と面談を繰り返し、家庭でできるしつけは親のつとめと、学校と家庭とユースケと共に頑張ってきました。４月から彼は特別な支援をしてくれる学校に行きます。みんなで納得して出した結論。行き場がそこにしか見つけられなかったのでなく、選んでそこに行く。それが大切だと感じています。

今日は、（毎年恒例のようですが）３年間お世話になった先生方にお礼を言わせてください。ありがとうございました。風邪をひいて３日休んだユースケが「先生に会いたい。」と言いました。失敗して帰ってきた日「電話して先生に謝りたい。」とそわそわしていました。信頼できる人、嫌われたくない人がユースケの心の中にいる幸せをありがとうございました。きっと私たち親子にとって忘れられない温かい日々になると思います。

―― わいわいネット　織田　裕子 ――

弟を見習って下さい



～平安時代を今に伝える～

かな料紙 小室　久さん（里美・大菅町）

雛人形と同じ王朝文化の中で誕生した工芸に「かな料紙」があります。里美には日本でも数少ない「かな料紙」の工房があり、今も平安時代の技法そのままに優美な「かな料紙」をつくる小室久さんをご紹介します。　（塩原　慶子）

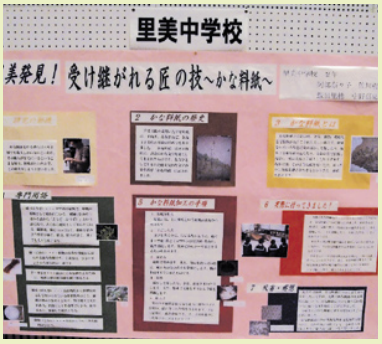
書道で用いられている紙には、良く知られている画仙紙や半紙の他に「かな料紙」という、主にかな文字を書く為の装飾された紙があります。にじみの少ない鳥の子紙を使い、地模様をすり込んだり、金や銀を散らしたりして、書の表す世界や表現をより効果的にするため様々な紙が作られました。上の写真のようなかな料紙に短歌が書かれている写真などはきっとみなさん教科書で一度は目にしたことがあるでしょう。

かな料紙という「紙」は書道において一つの材料です。しかし「材料」という言葉では表しきれない大きな演出の力も発揮できる位置にあります。紙に書かれる「歌」の表す世界や文化の奥行きを、重層的にふくらませる大事な役目を負っています。1枚の料紙に「歌」の背景として遠い山の景色や川の流れも自在に描くことができるのです。

中段の写真は浮世絵の版木と同じ山桜の板に彫った「唐紙」の版木です。この版木で刷った唐紙の美しさ、など、「和」の趣が見直され生活の中に多く用いられるような時代が来ることを願ってやみません。

「祖父が創業した仕事を三代に渡って受け継いでいます。かな料紙が出来上るまでの作業工程は大変多く、本来分業で行われていた仕事でしたが、祖父の代からすべての工程をひとつの工房で作業するやり方で製作しています。」かな料紙ができあがるまでの作業工程は大変多く、分業で行われていた仕事が、職人が減るにつれ、小室さん自らが行わなければならなくなってきたそうです。工房には多くの道具がそろえられ、作業場も行程ごとに何カ所にも分かれています。

「1枚のかな料紙ができあがるまで、多くの行程を自分で行うのは大変ではありますが、その分自分で作り上げるという喜びがあります。」と小室さん。穏やかな笑顔に伝統を伝える人の奥行きを感じさせられました。



里美中学校の生徒さんたちは授業の一環でかな料紙の学習をしました。「かな料紙の歴史や技法・手順などを調べました。すべての技法を使っているものを記念にいただき、とってもきれいで宝物です、使ったらもったいない！」とファイルに大事にしまってあったかな料紙を見せてくれました。この調査発表は生涯学習フェスティバルでも展示されます。ぜひ足を運んで力作をご覧ください。

広　告

リレーエッセイ「思い出の絵本」『点子ちゃんとアントン』～48～

（上河合町　稲川　幸子）

昨年、テレビで懐かしい世界名作のリメイク版を連続ドラマで見て、ある本を思い出しました。それは、昭和30年代海外の児童書が翻訳されて小学校の図書室に並び始めた私の子ども時代に、図書室にいりびたり読みふけった本の中の一冊です。

ドイツの作家、ケストナーの「点子ちゃんとアントン」は豪邸住まいの女の子とぼろアパートに住む男の子の友情話です。社長の娘の点子ちゃんと、貧乏でお母さんと二人で暮らしているアントン君がどうしてお友達になったか不思議でしょう。点子ちゃんの養育係が悪い人で夜中に点子ちゃんが橋の上でマッチ売りをさせられている時、同じ橋の上で病気のお母さんを助けるために靴紐を売っていたアントン君と知り合い仲良くなるのです。それから大変な事件がおきるのです。ドキドキ…、ワクワクと…。

あの頃夢中になった遠い日の一冊の本の作者からのメッセージは、「正しく考えることができる子ども達が育てば、素敵な社会が作られるはずである」なんだと気づきました。でも子どもだった私はどこまで理解していたのかしら。

あの頃の図書室に戻って、読み返して見たくなりました。

（次回は　天神林町　吉見　陽子さん）

常陸太田市生涯学習フェスティバル

日　時：平成22年2月27日（土）、28日（日）　10：00～16：00
場　所：常陸太田市生涯学習センター、常陸太田市市民交流センター

昨日できなかったことが今日はできるようになる。一人では味気ないけど、仲間と一緒なら楽しくできる。生涯学習には、数えられないほどの魅力がいっぱいあります。そんな魅力に魅せられた皆さんの発表の場が「生涯学習フェスティバル」です。常陸太田市の生活文化のお祭りの中から、皆さんの発表風景と展示している作品の一部を紹介いたします。

実技発表

皆さん、素敵な衣装に身をまとい、日頃の練習の成果を発表します。

展示発表

作者の様々な想いがこめられた力作です。ぜひ、ご自分の目でご覧になって下さい。

一般展示（一部を紹介します）

子どもの体験コーナー

生涯学習フェスティバルでは「子どもの体験コーナー」を開設しています。茨城工業高等専門学校の先生にオリジナルストラップづくりとロボット操縦について教えてもらい、楽しく学べます。